

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス名谷教室			
○保護者評価実施期間	2025年11月4日 ~ 2025年11月28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25家族	(回答者数)	22
○従業者評価実施期間	2025年11月4日 ~ 2025年11月28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月9日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療育、ビジョントレーニングなど児童に必要な支援内容を考え支援することが出来ている。	運動療育において全員が参加出来る基礎的動きを行い、その上で個々の動きに応じてボール運動や体幹トレーニングなどに適性に合わせた支援を行っている。	集中してビジョントレーニングに取り組む時間の確保が難しいが、短時間の中で児童との個別の関わりを通して集中力を自身に着けることや眼球トレーニングによる脳機能の向上を図る。
2	学校休業日は時間をかけて支援することが可能なため、様々な体験や経験をすることを主にしたプログラムを実施している。	偏った体験にならないよう調理実習や博物館見学、公園外出などに多彩なプログラムを工夫している。	利用児童が楽しく過ごせることを大きな目標にしているが、物見遊山な活動にならないよう留意する必要がある。社会性を伸ばす、感動できる体験をするなど更に工夫をして取り組む。
3	訓練室の広さをいかし活動的な内容の療育を行える。また、一人当たりの活動スペースを十分に確保できるので諸活動をのびのびと行える。	運動や活動的な活動を好む児童と静的な活動を好む児童が、お互いに干渉することなく活動できるよう工夫している。	室内サークットや長縄大会など児童が自然に体を動かしたくなるような内容を工夫する。 活発に体を動かすことによって起こることが予想される接触や転倒などの怪我の予防に配慮する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母会の開催、家族支援プログラムやペアレントトレーニングが十分に行われていない。	職員多忙により、年に一回の保護者茶話会と夏祭りへの保護者参加の呼びかけ以上に保護者間交流等の機会を設けることが難しい。	昨年度初めて保護者茶話会を行った、数名のご参加であったが有意義な時間を過ごせた。さらにご参加を促す、開催回数を増やし保護者交流のきっかけにするなどを行う。
2	放課後児童クラブ、児童館との交流などを通して地域の子どもたちとの交流ができない。	利用児童と地域の児童館等の交流の方法またきっかけ作りを考えることが出来ておらず、実現に至っていない。	児童館、児童クラブへ質問しどうような交流が可能かをお聞きする。当事業所の利用児童、保護者への聞き取りも行い「交流の希望」や「交流活動の持ち方」等についてご意見をお聞きする。
3	個別支援計画について5領域の説明や支援の手立てや内容説明が十分になされていない。	個別支援計画の記載方法が変わったことを十分にお知らせできていない。 保護者面談時に各支援について深く説明できていなかった。	職員が研修、意見交換を行うことで5領域を意識した支援方法を理解する。 面談時に5領域との支援のかかわりについて手立てや内容説明を行う。